

普及現地情報

発信年月日：平成28年(2016年)7月19日
所属名：大津・南部農産普及課
番号：A16005
部門分類：610(担い手育成)
発信者名：薬師川、中村、市井

農を学び実践学習の魅力聴く —学校教育との連携講座—

大津・南部農産普及課では、7月7日、湖南農業高等学校において、3年生10名・2年生9名を対象に、農業の魅力の発見や就農意欲の向上を図ることを目的に学校教育との連携講座を開催しました。現地視察を含め約3時間、19名の生徒(男子6名、女子13名)が熱心に耳を傾けました。

最初に、湖南農高出身の県立農業大学校在校生から、毎日の講義の内容や専攻別に実習を重視した授業が行われていることなど、自らの体験談を語ってもらうとともに、大学校担当者から養成科のカリキュラムや進路状況等について説明されました。

続いて、草津市北山田町に移動し、農業法人の社長から、「売れる野菜づくり、自らの工夫によって可能性が広がること、意欲を持ってやって行く大切さ」などお話しいただきました。その後、湖南農高・農大出身で同法人に就職就農している青年からは、農業に対する自分の想いを話していただきました。

終了後のアンケートでは、殆どの生徒が勉強になったと回答され、「知らないことがたくさんで、聞いてためになった。」「すごく先輩が生き生きとされていた。」などの意見がききとれ、大変実のある講座になりました。

次回は、10月湖南農高の先生を対象に、当管内の指導農業士を訪問し、現場の実情に触れてもらうとともに、青年農業者育成に関する考えを聴いてもらおうと企画しており、引き続き学校教育との連携を図っていきます。



農業大学校生の体験談



就職就農青年からの説明